




本編クライマックスシーンにて
多少の流血描写がございますので
苦手な方はご注意くださいませ




天人さまとの
お約束ッ



ずっと
一緒のお約束ッ



血も肉も
心もぜんぶ——



二人で
一緒に——



——
分かち合う



ずーっと



ずーっと



一緒だよ

あア——

大丈夫

そう長くは
待たせないから

私も早く
そっちに
戻りたいな

でも

今はダメ

今は——
足りない



友情が：
暖かい魂が――

全然足りない

スマレ：
あなたに捧げるには

少なすぎる

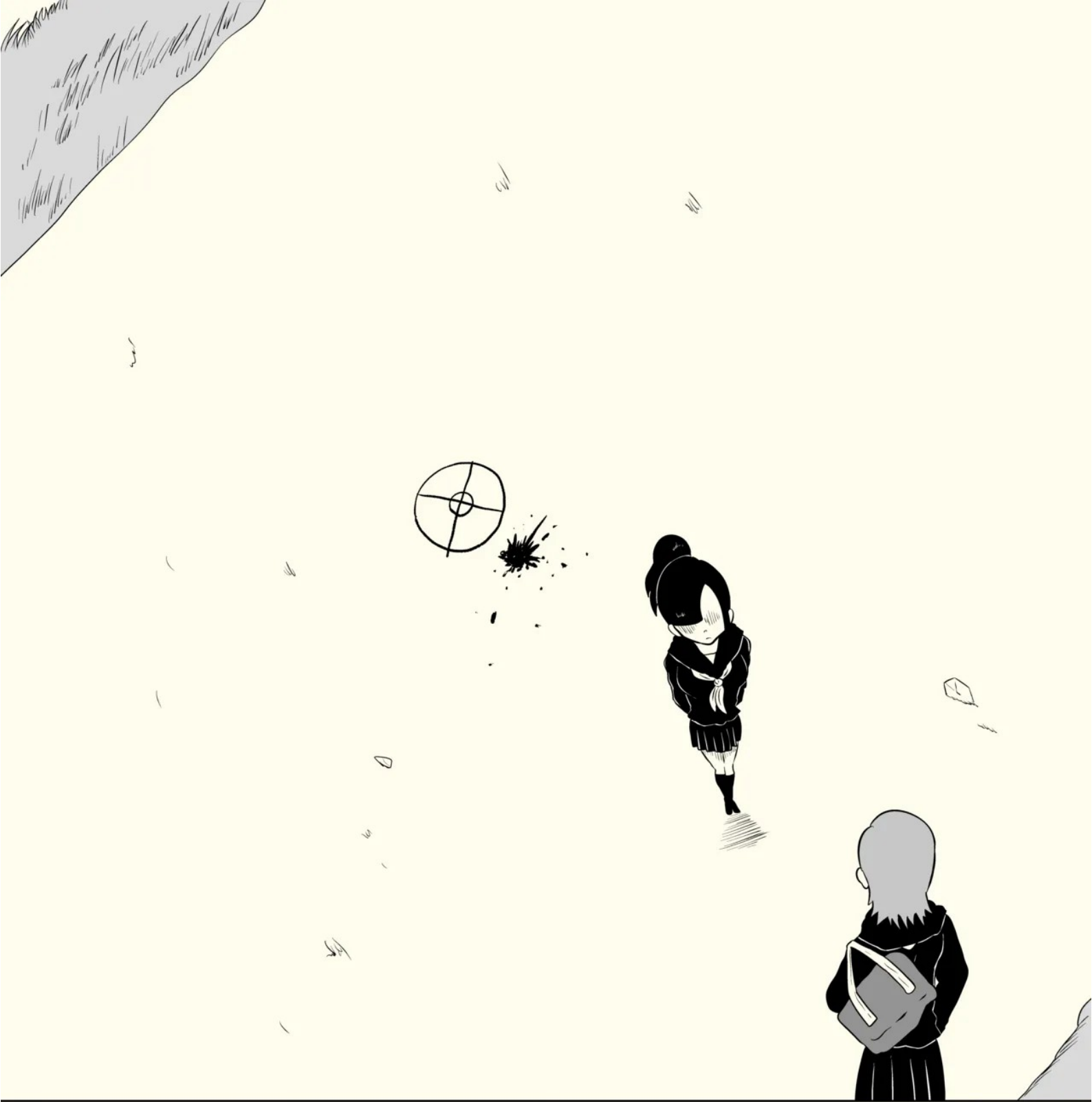
でも
絶対に

私の――

――唯一の理解者
なんだから

スマレを
こっちに戻して
あげるから





日野スマイレ



昭和のかの大事件の
犯人として知られる

日野スマイレは
事件後に死亡…
とされている



その後は




出身中学で
目撃情報が
相次ぐ

目撃者に
友人になろう
と声を掛ける

スマイレと
仲良くなった者は


数日後に
窒息死で見つかった



死亡した生徒達は
いずれも――

それは
恐ろしい――

スマレとの間に
とある儀式を
交わしていた



おまじない
だった

スマレと友人に
なってしまった者と――

――親しい者の
魂たちを――

――出来るだけ多く
スマレに捧げる

そのまじないが
成されれば――

儀式は完了
多くの
魂と引き換えに――

殺人鬼スマレは
自由を得る

これまでに
何名かの生徒が――

――その儀式を
試みたが――

――全て失敗に
終わり――

儀式を試みた生徒は
後日、
窒息死体で見つかった

成功者が出る前に
手を打つ必要が
あるな――

しかし、もし――
超常的――力を持つ者が
儀式を試みたら――

先生！

青風先生！

あア――

それまでに
儀式を試みる者が
現れんことを祈ろう

入ってくれて
構わないよ




スマイル


—くすぐり猫奇事件—

最終話







助けてッ
瑠花 あああ



威勢だけの
臆病なヤツだ




あんたらのために




死んでたまるか
って話なの……!



呪ってやる



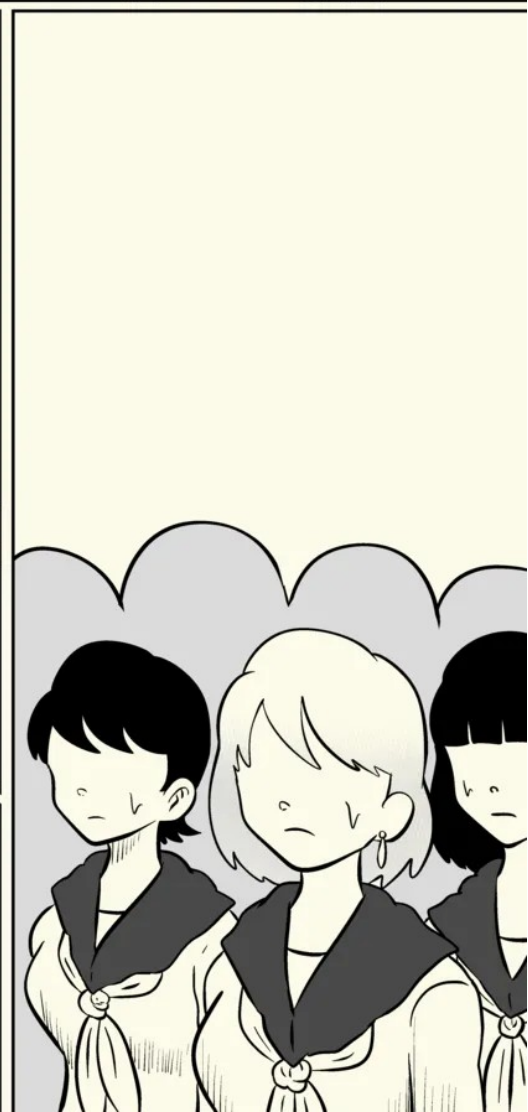
死体が四つも
出来ちゃったけど

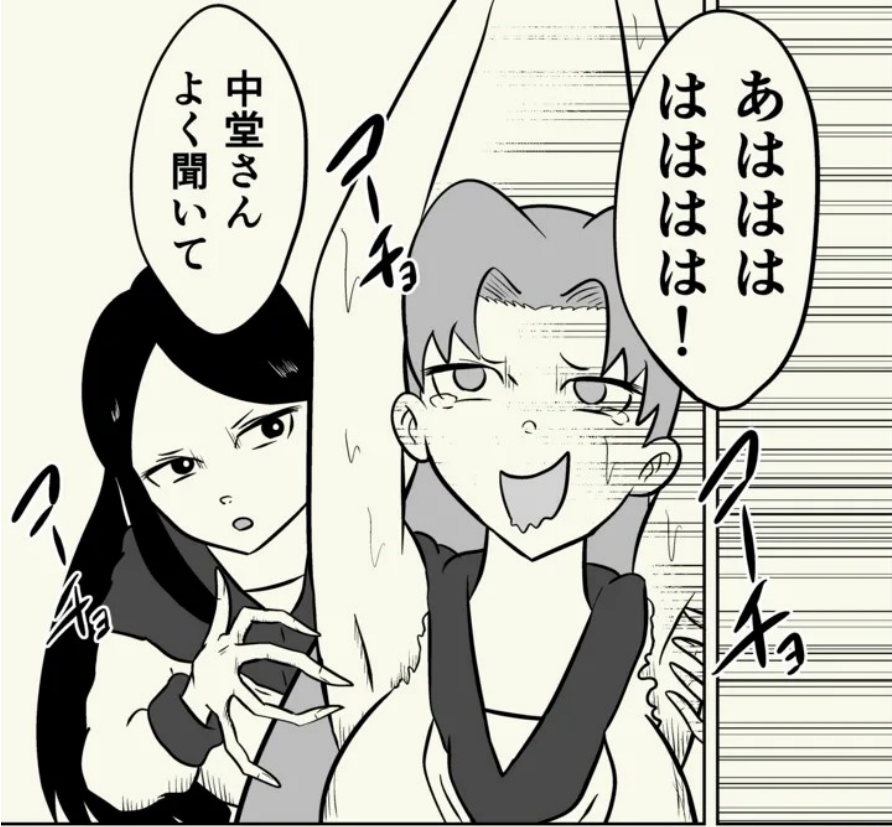


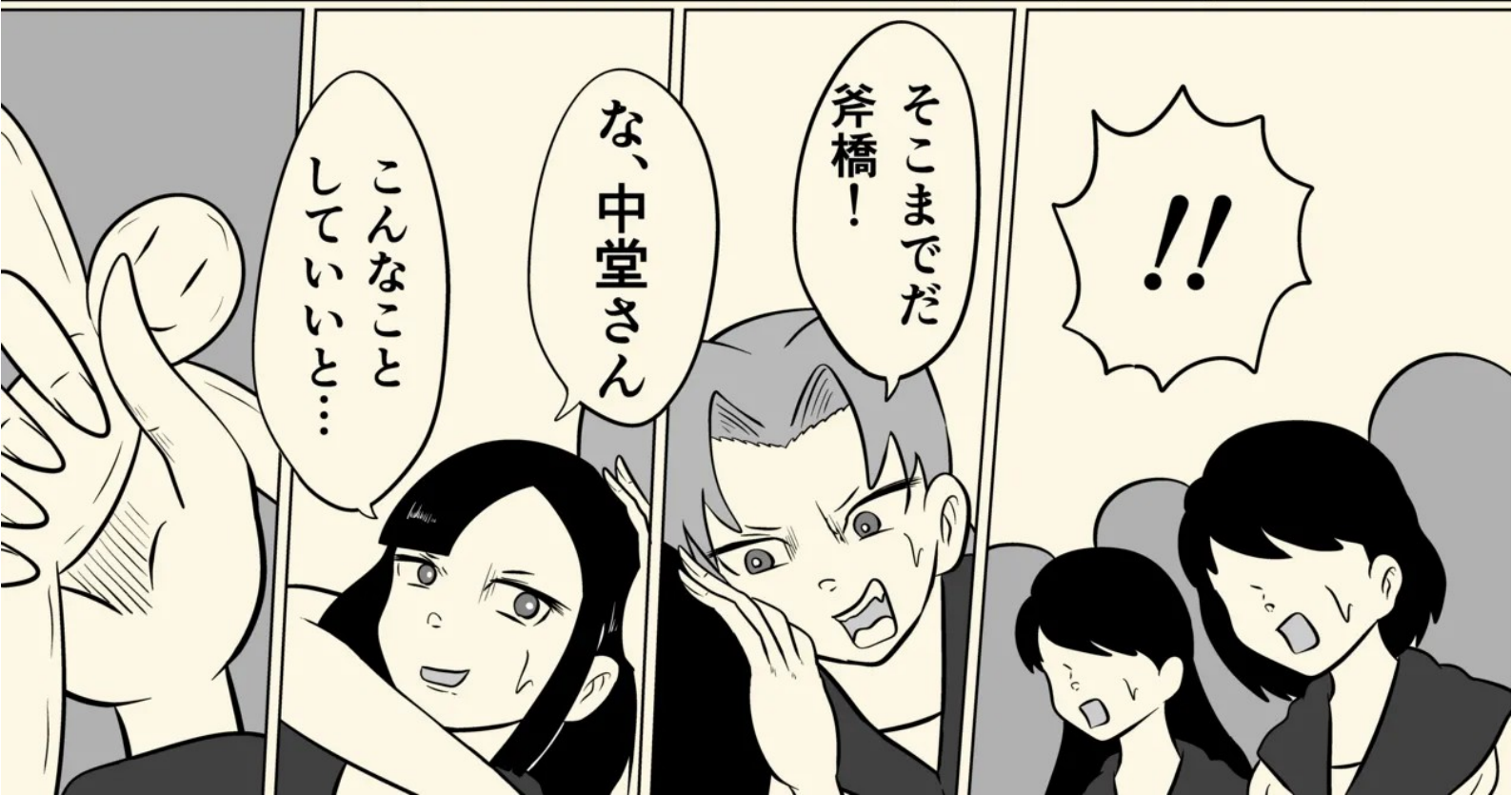
その代わりに
うん……

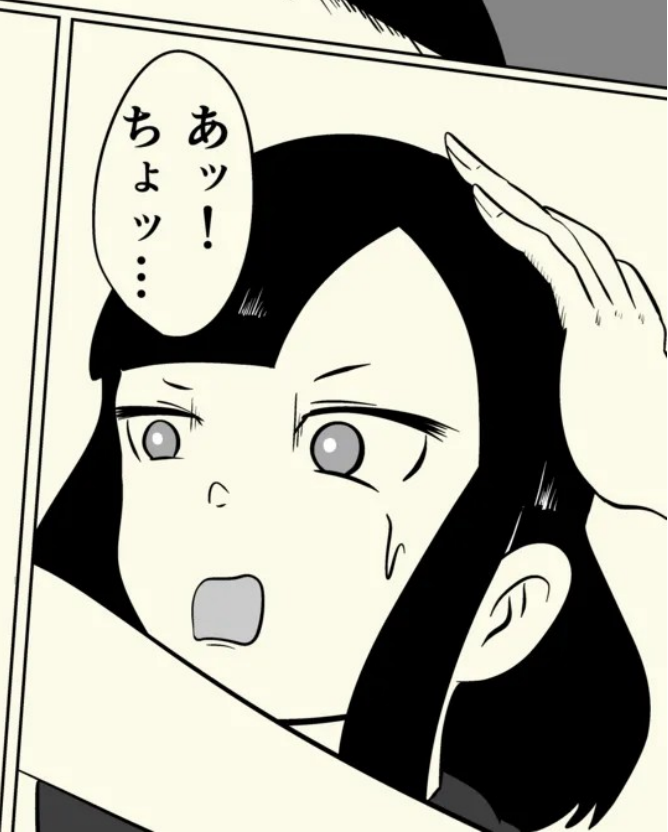
みんなの
結束力は

少しだけ
強まったんじゃない？









私たちは心の隙間を
突かれて：

こんな惨劇を
起こされた：

確かに
私たちは

仲良くなかった
けど――

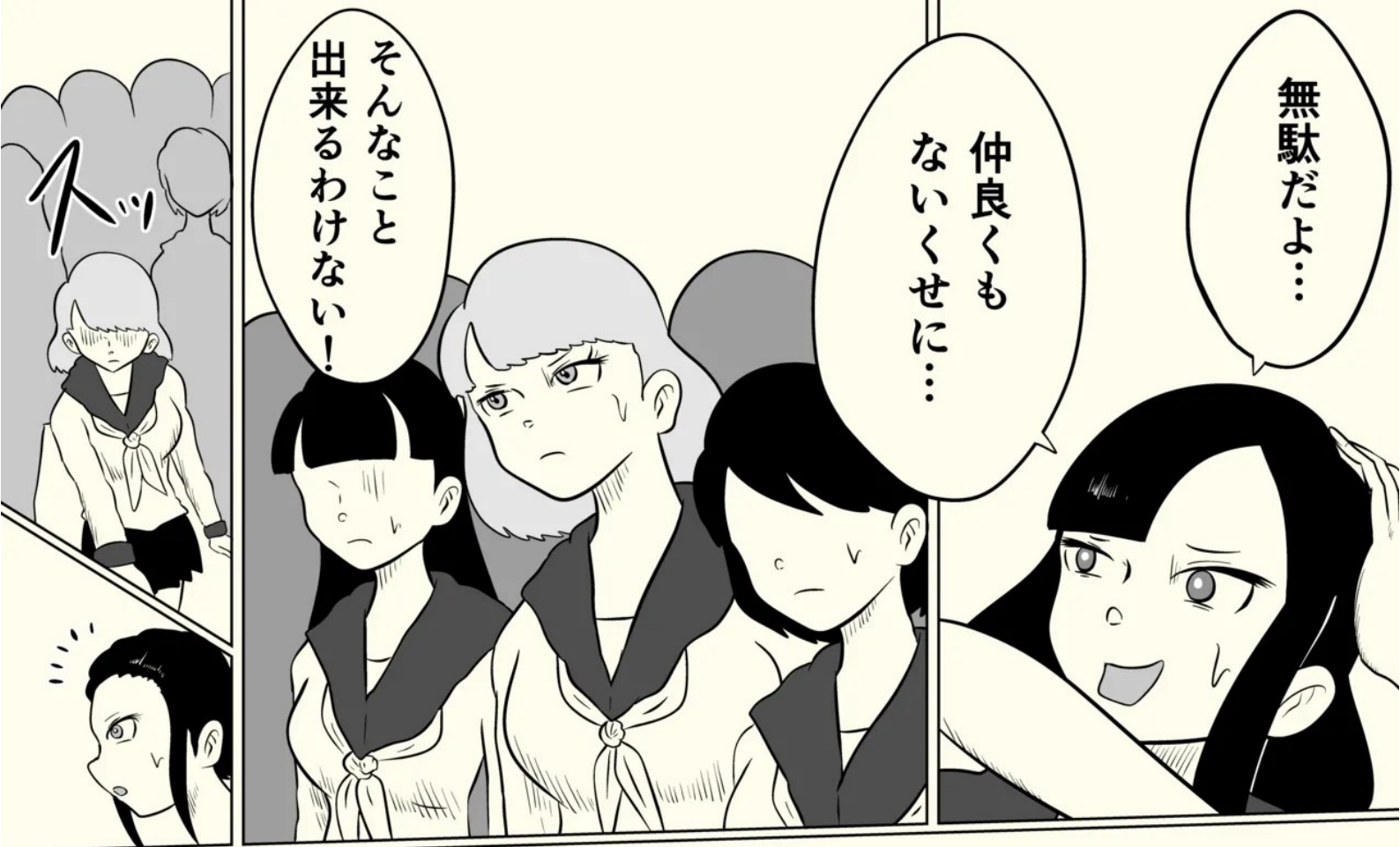
仲悪くも
なかったよね

じゃあさ――

この殺人鬼を
止めるために――

今だけでいいから――

ちよつと**団結**
してみない!?



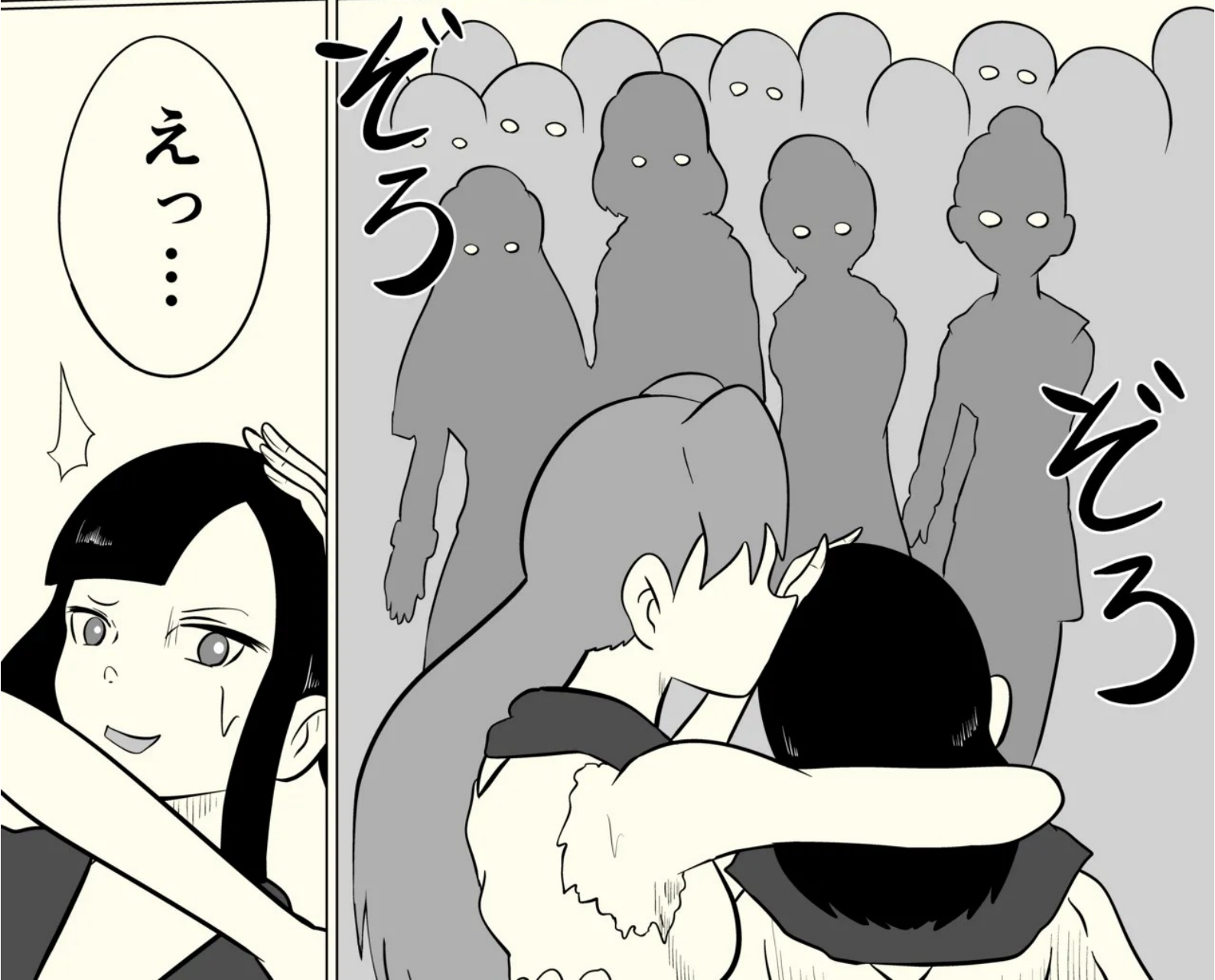
無駄だよ…

仲良くも
なくせに…

そんなこと
出来るわけない!

トッ

えっ…



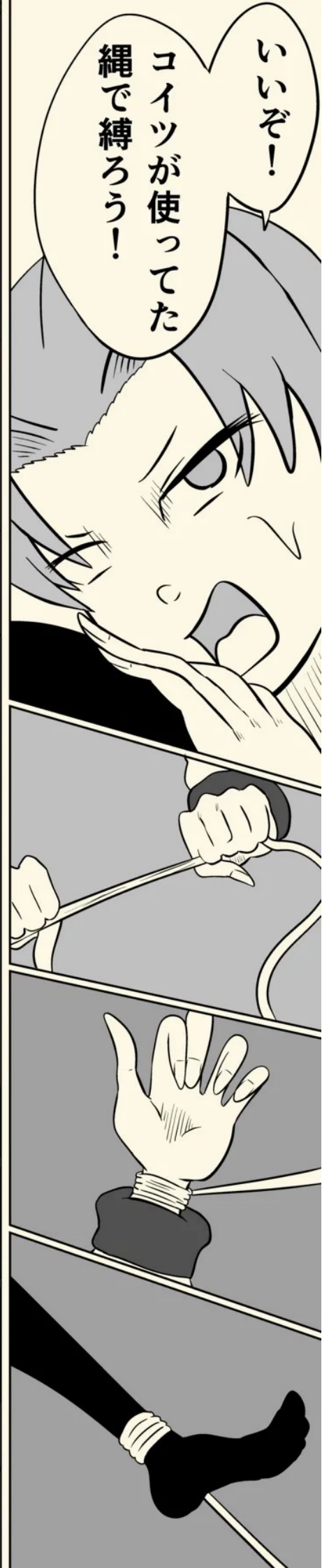
どろ

どろ

こんなの…
許されないからね



いいぞ！
コイツが使ってた
縄で縛ろう！



それで…

こっから
どうする？

とにかく
気絶させないと

このままだと
危険だから

気絶？

首でも
絞めるか？

くすぐり地獄の刑

ううん
やるのはね

本気？

くすぐりで
わたしを？

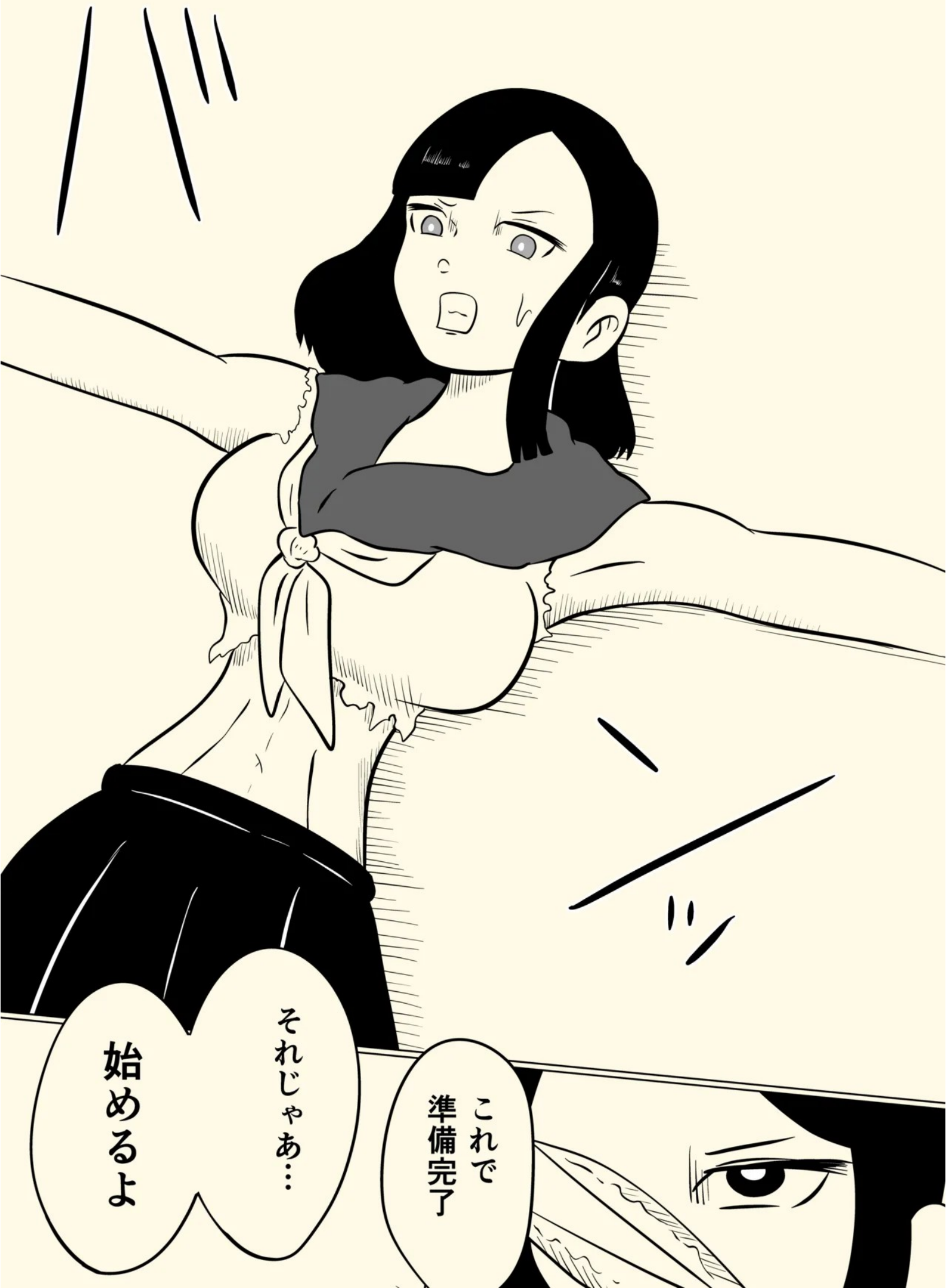
斧橋さん

私ね…

くすぐるのがさ
性的に大好きなんだよね

これまで何度…
彼氏をくすぐり倒してきたか…





始めるよ

それじゃあ…

これで
準備完了



あとで全員…

お仕置きしちやう
からね？

そんなの
させない

それより斧橋さんは
どこが弱いのかな？

うね

うね



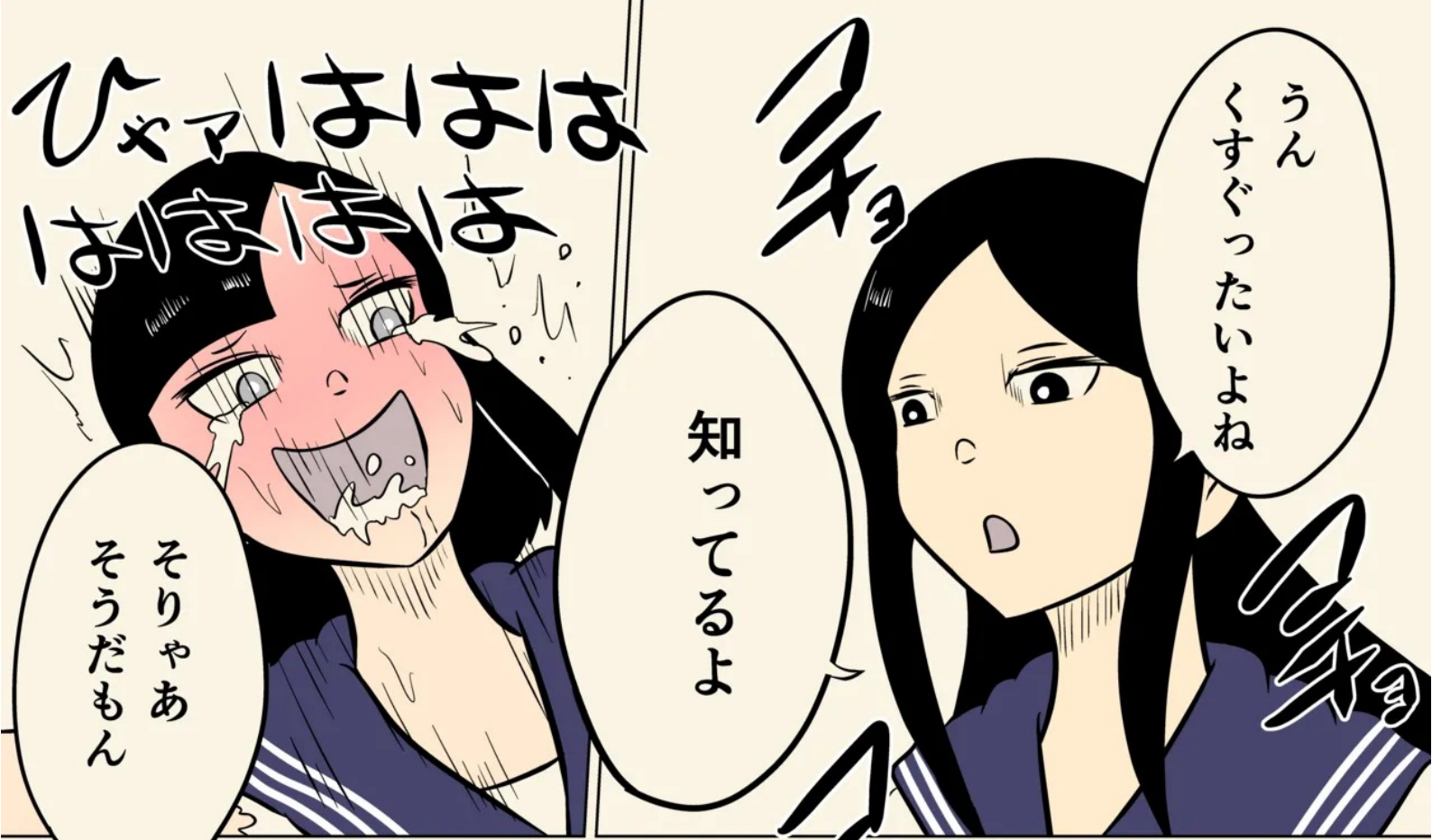
なんて—

んんッ!?

チェックすれば

オツケー
腋だね

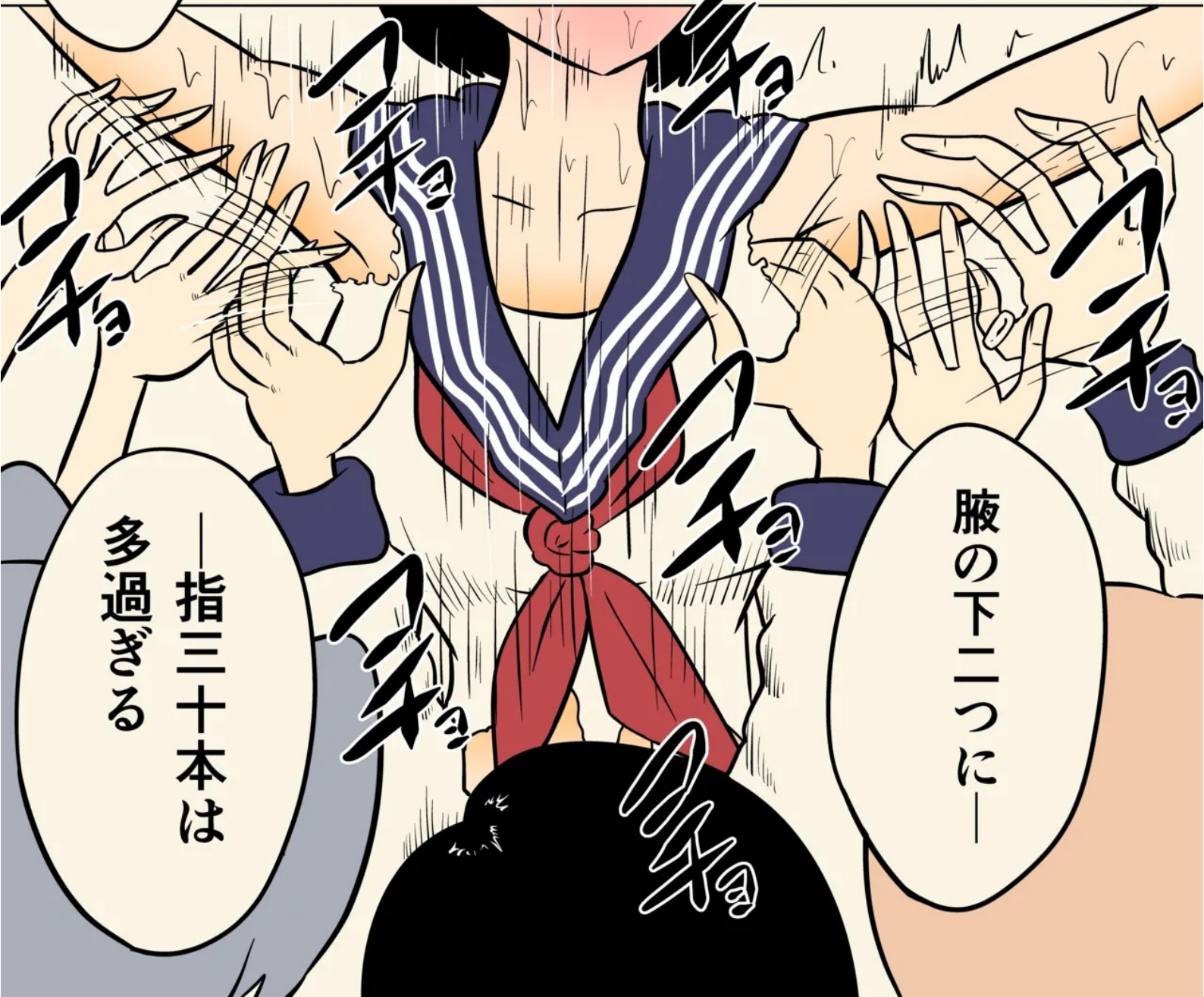
じゃあ
二人とも
やるよ？



そりゃあ
そうだもん

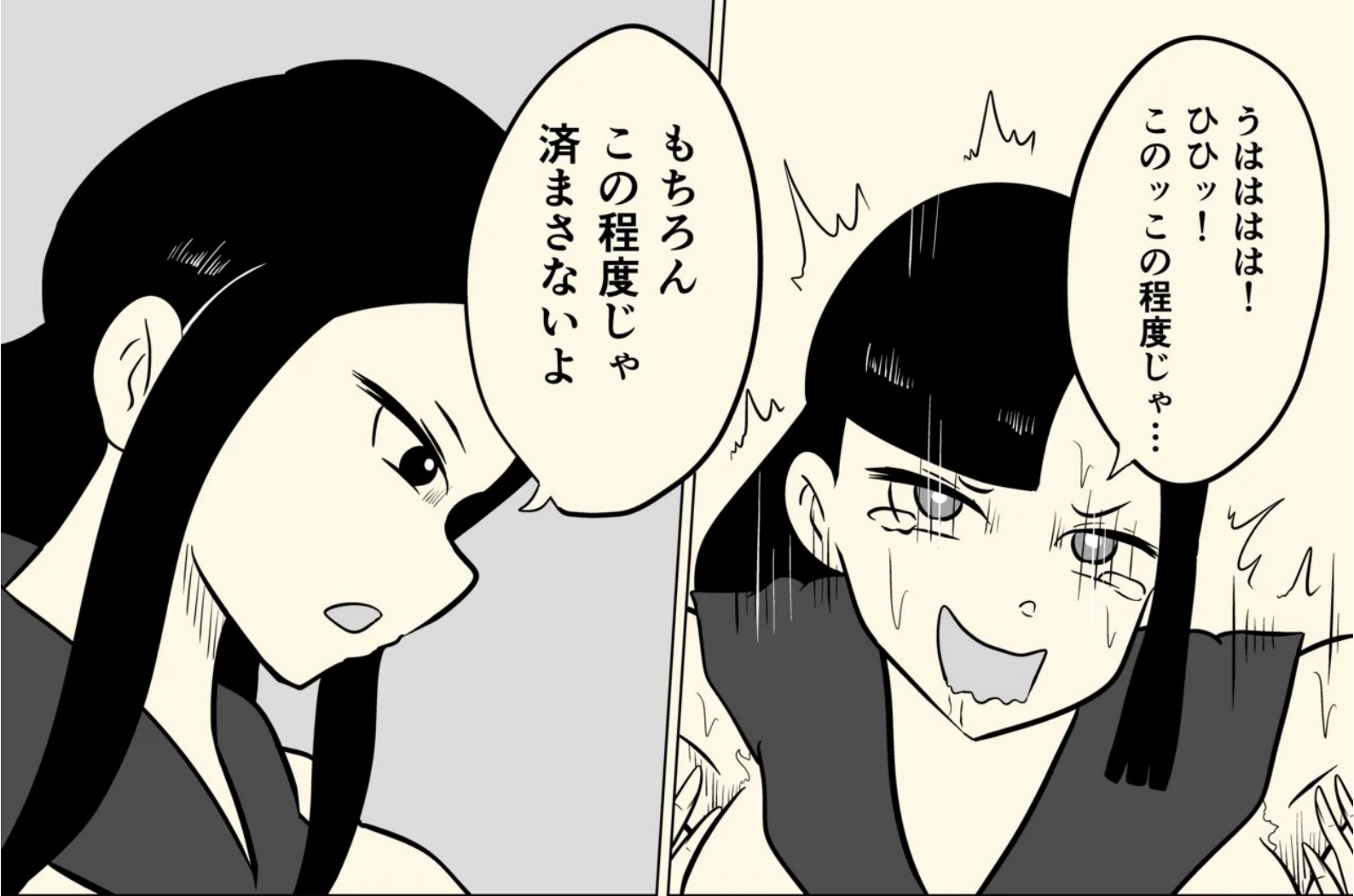
知ってるよ

うん
くすぐったいよね



—指三十本は
多過ぎる

腋の下二つに—



もちろん
この程度じゃ
済まさないよ

うははははは！
ひひッ！
このッこの程度じゃ…



足の裏コチヨコチヨの刑も
いい

例えばそう…
三人で寄ってたかって

委員長…

足裏は急所だろうから
もうちょっと
取っておこう

一度ね
やってみたかった
くすぐりがあるの

お腹と脇腹を
同時に—

揉んでくすぐる…

腹部絞めって
くすぐりなんだけど

な、なにそれ…



めたくそにくすぐりまくる

あとは…二人の余ってる指で



うへえへへへへ
くるじい!
くるじい!
くるじい!

苦しうっつ?

みんな...
そうだったんだよ

あははははははははは!
ダメッ!これッ!
キツイっ!いひひ
はははははははははははははははは!
はははははははははははははははは!
はははははははははははははははは!



かなりの
効き目だな

じゃあそろそろ
逃走防止も兼ねて…

そのデカめの
足裏やっとか

ひえッ？

手指を
ヌルヌル
にして…





「おはおはおはおは？」
おはおはおはおは





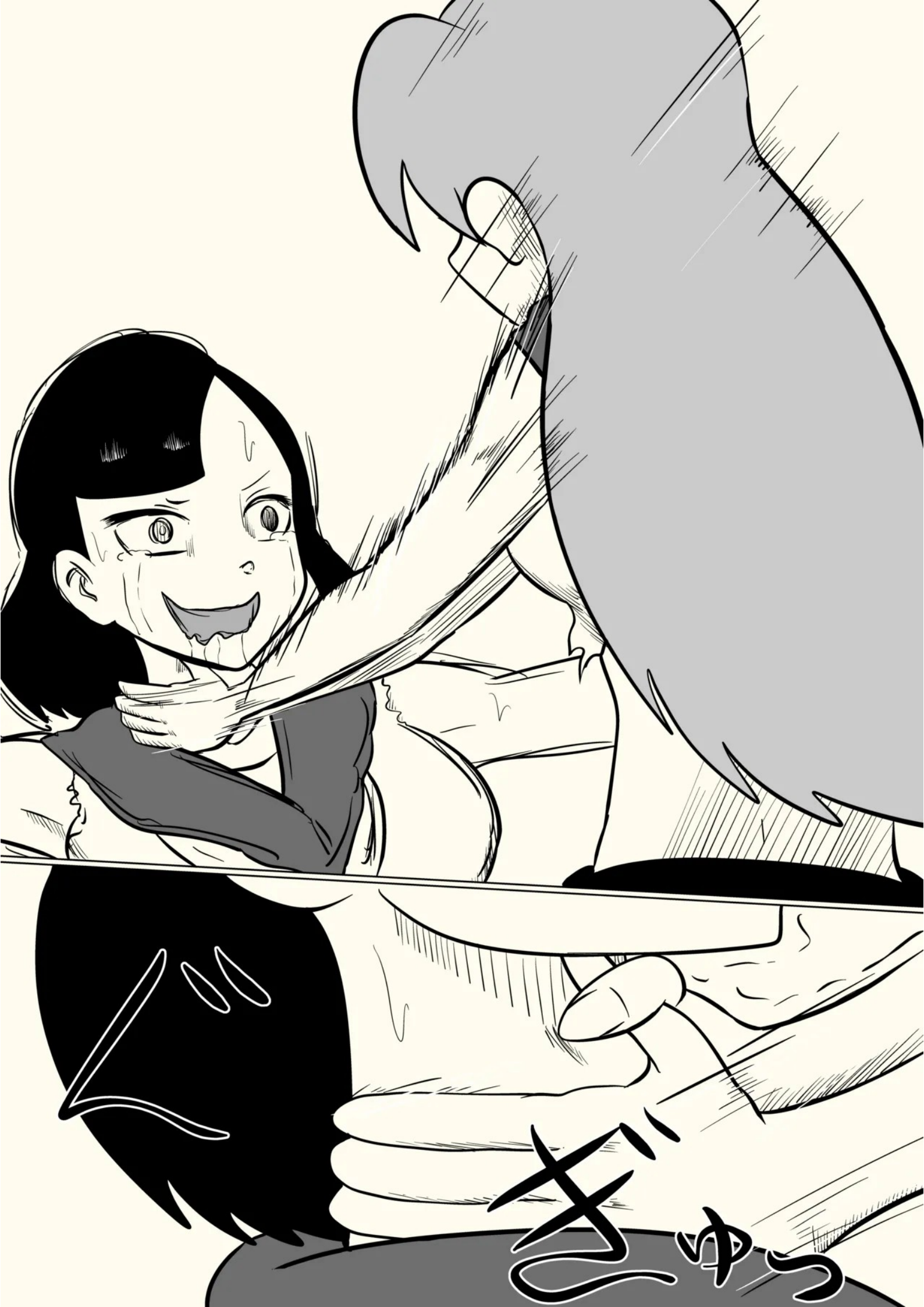
うははははは！
はッ！全員ッ！
全員ッくすぐり殺してやるッ！



コイツは…



コイツは
—生がしてちやダメだ…！



中堂さんッ!?

杉澤ッ!委員長!
やっぱりコイツは…

生きていては
いけないッ!

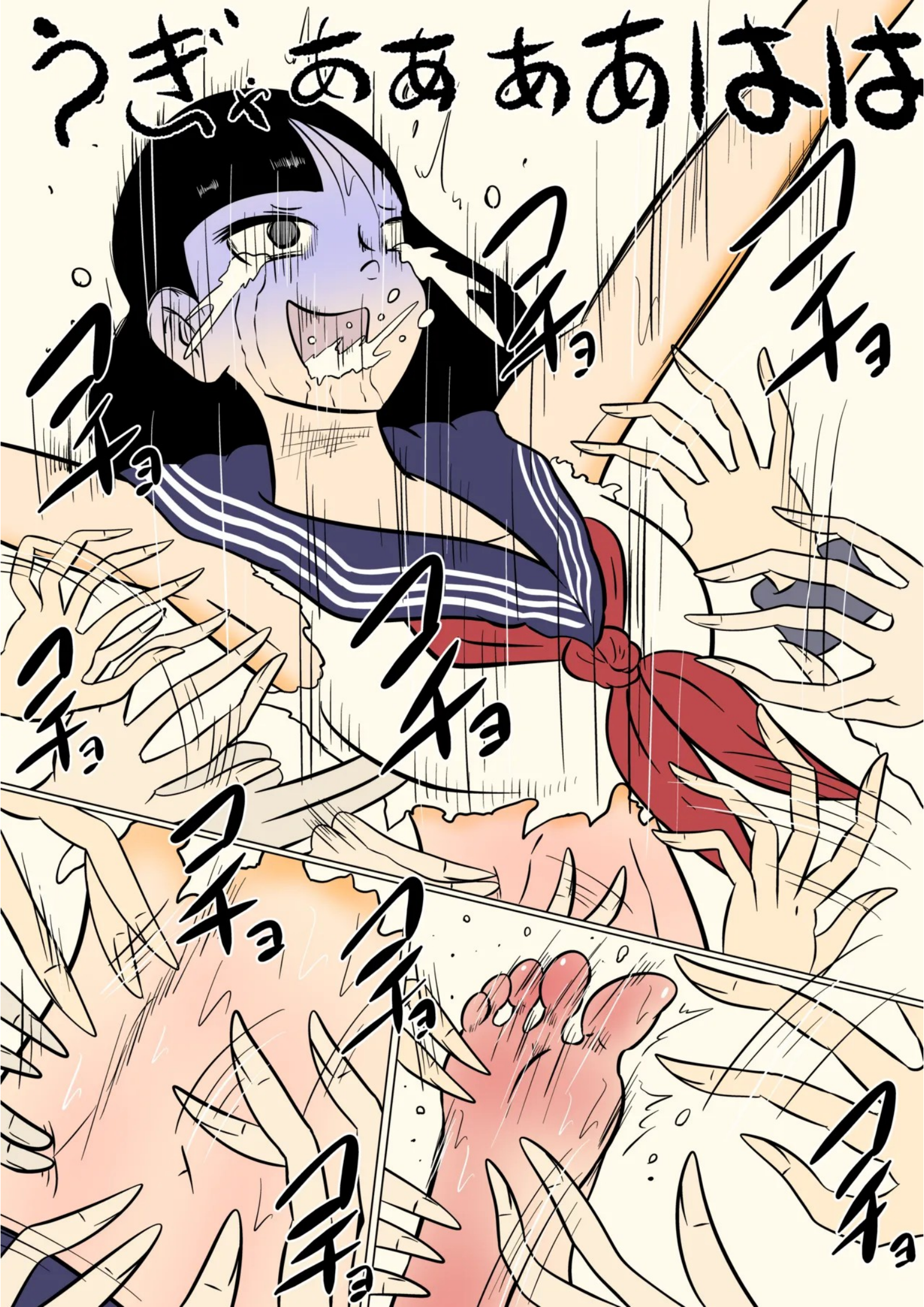
くそ!
ダメだ!

手が震えて
絞めきれない!

だったら…
全員でくすぐり殺そう



うぎ ああ ああ はは



なんで死なないんだ!

くそッ!
なんで…

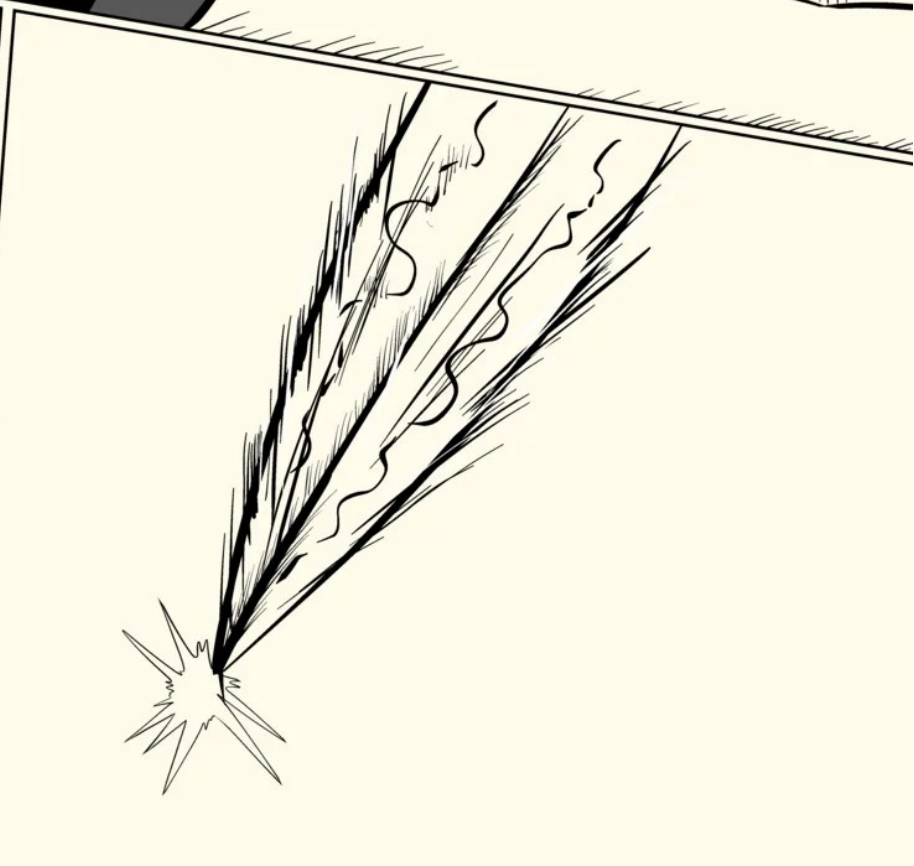
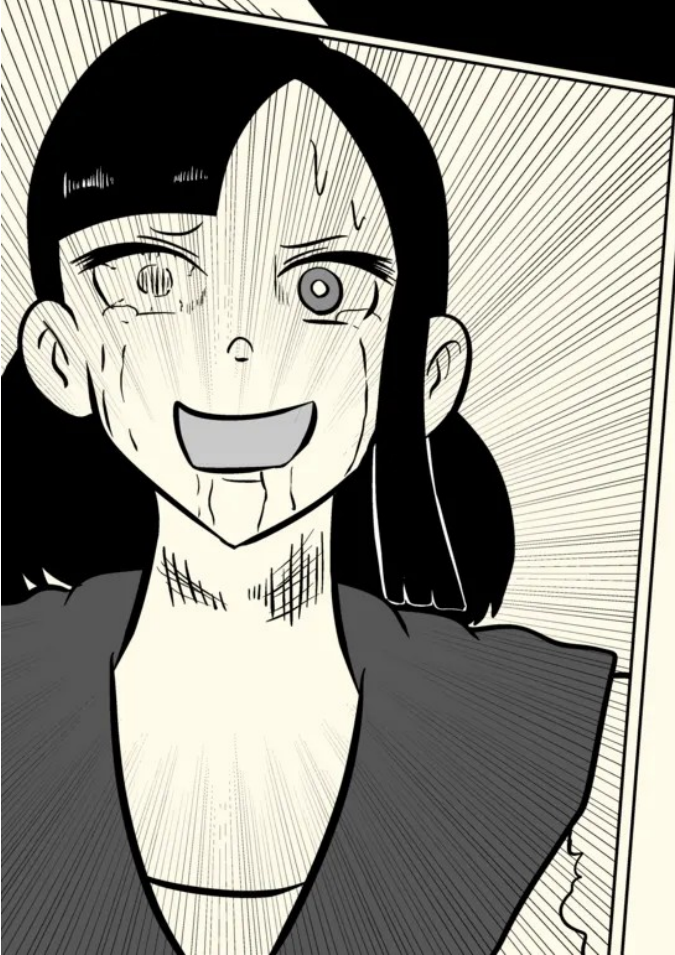
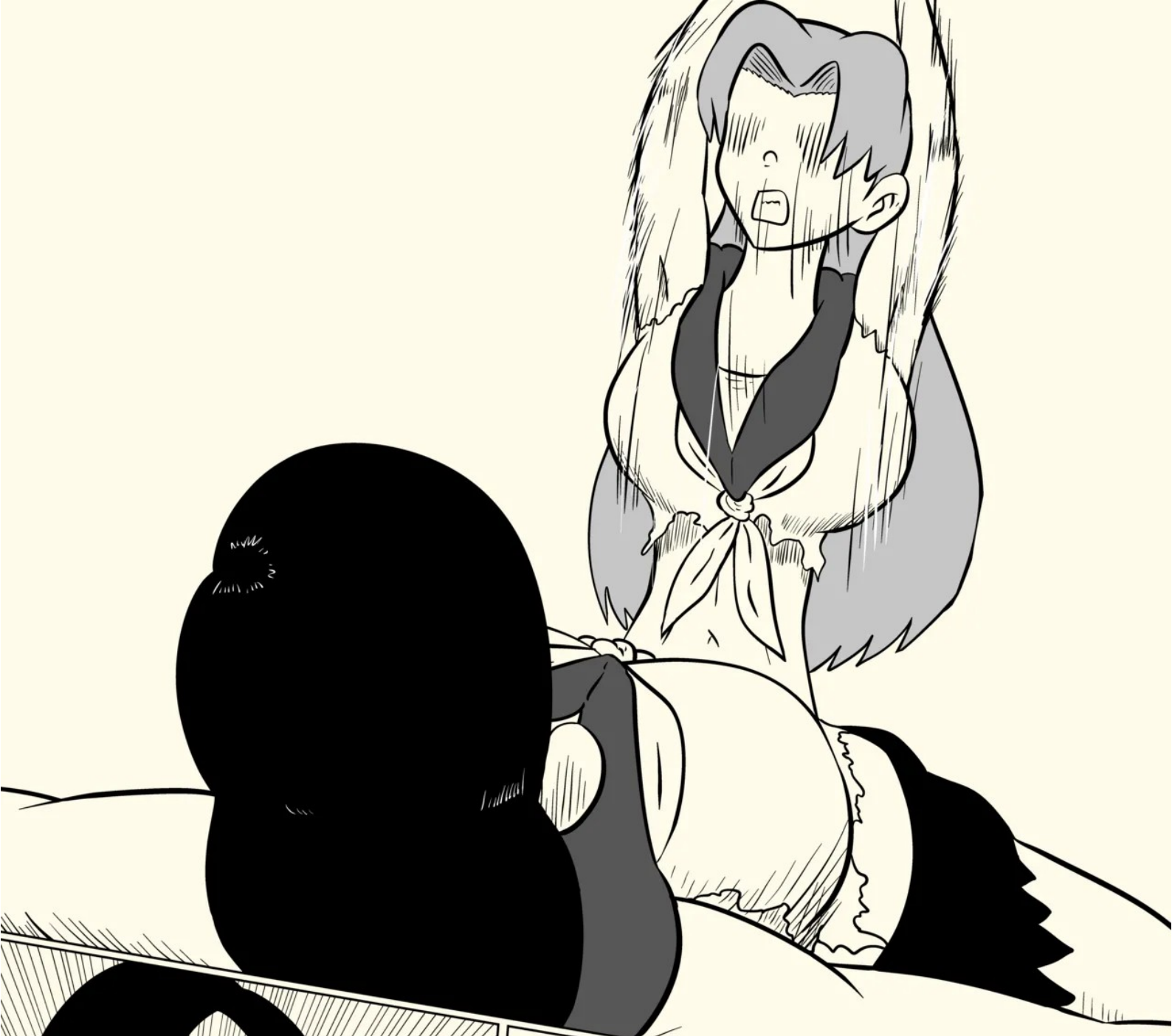


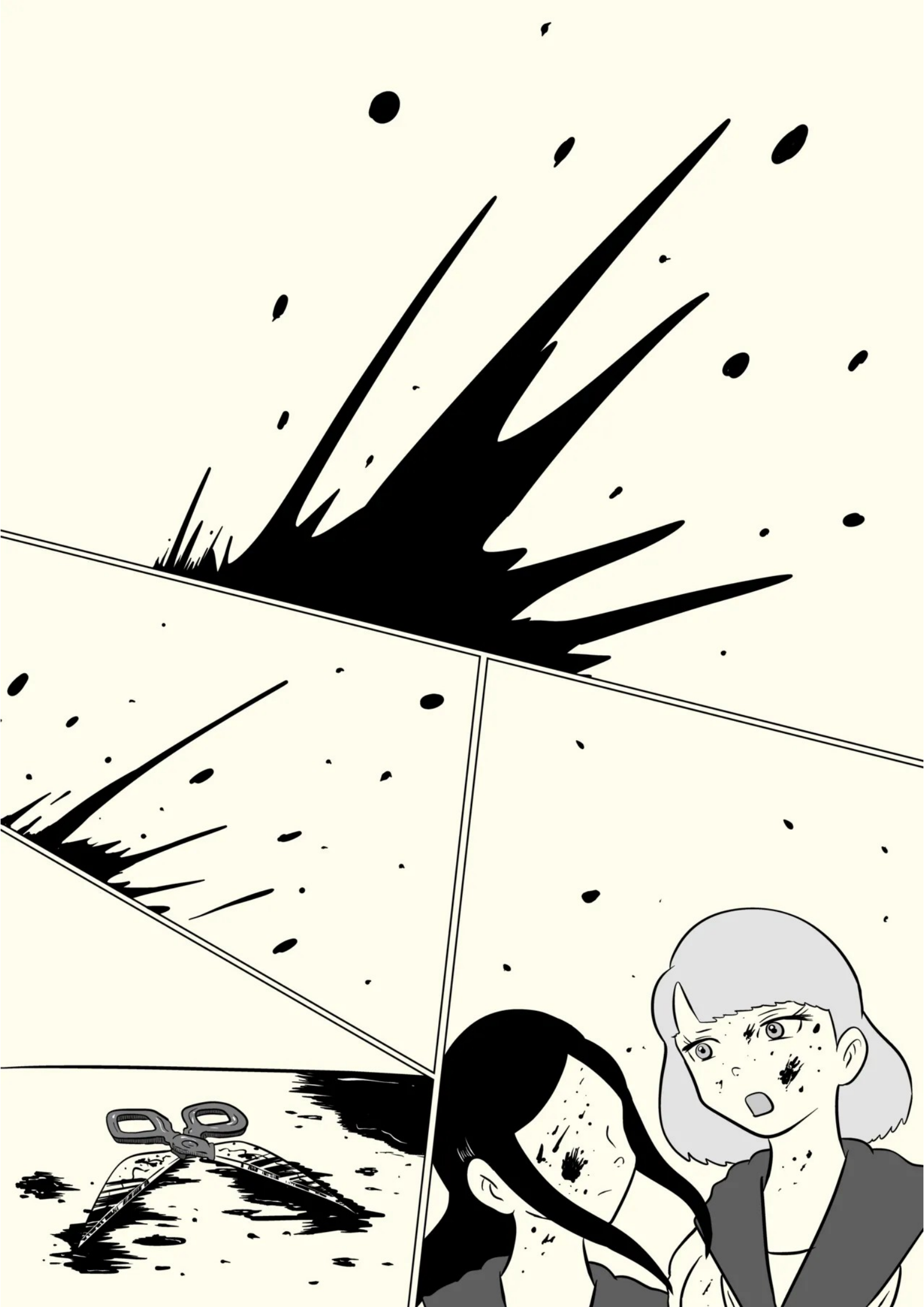
コレしか無い…のか?

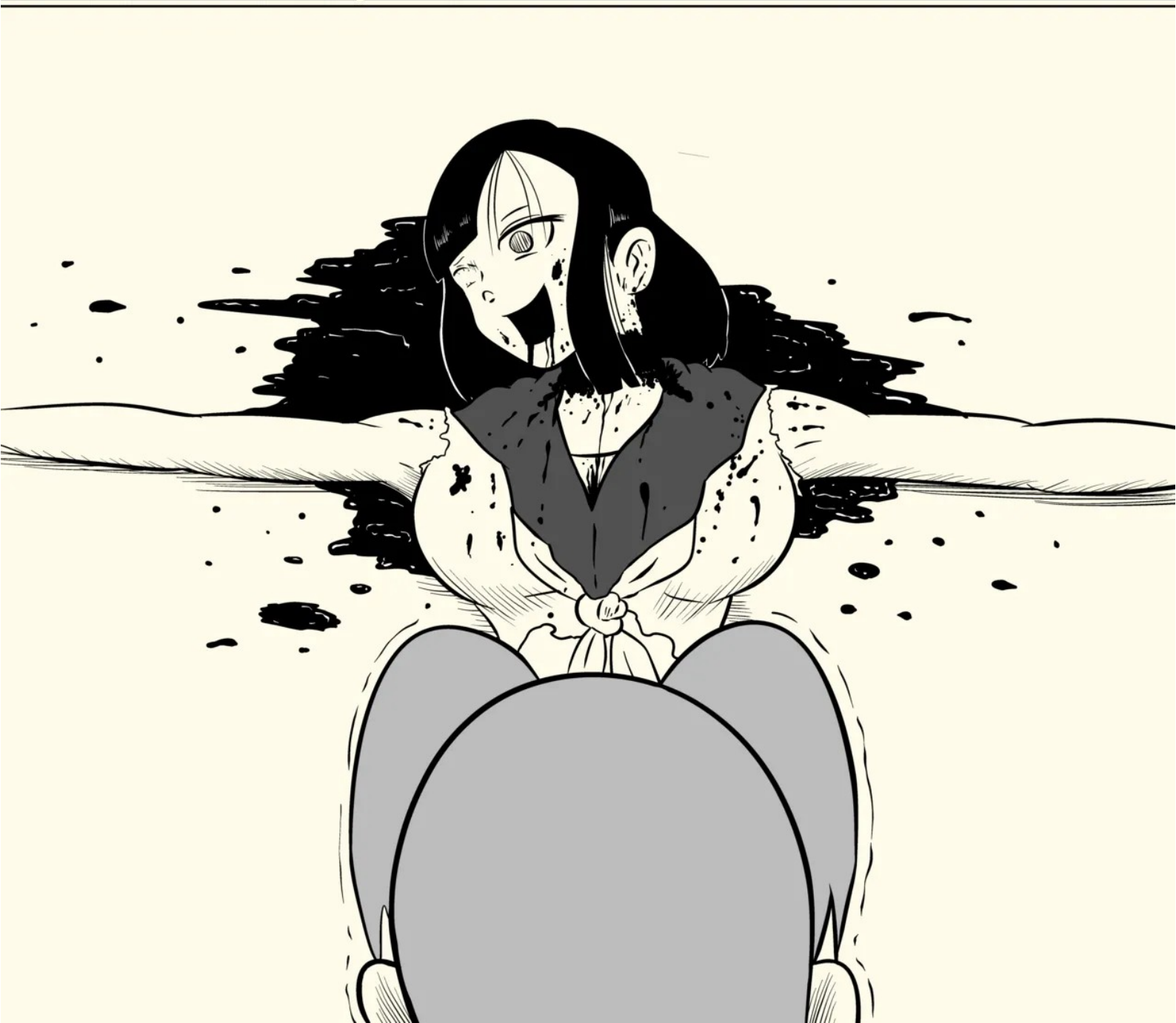


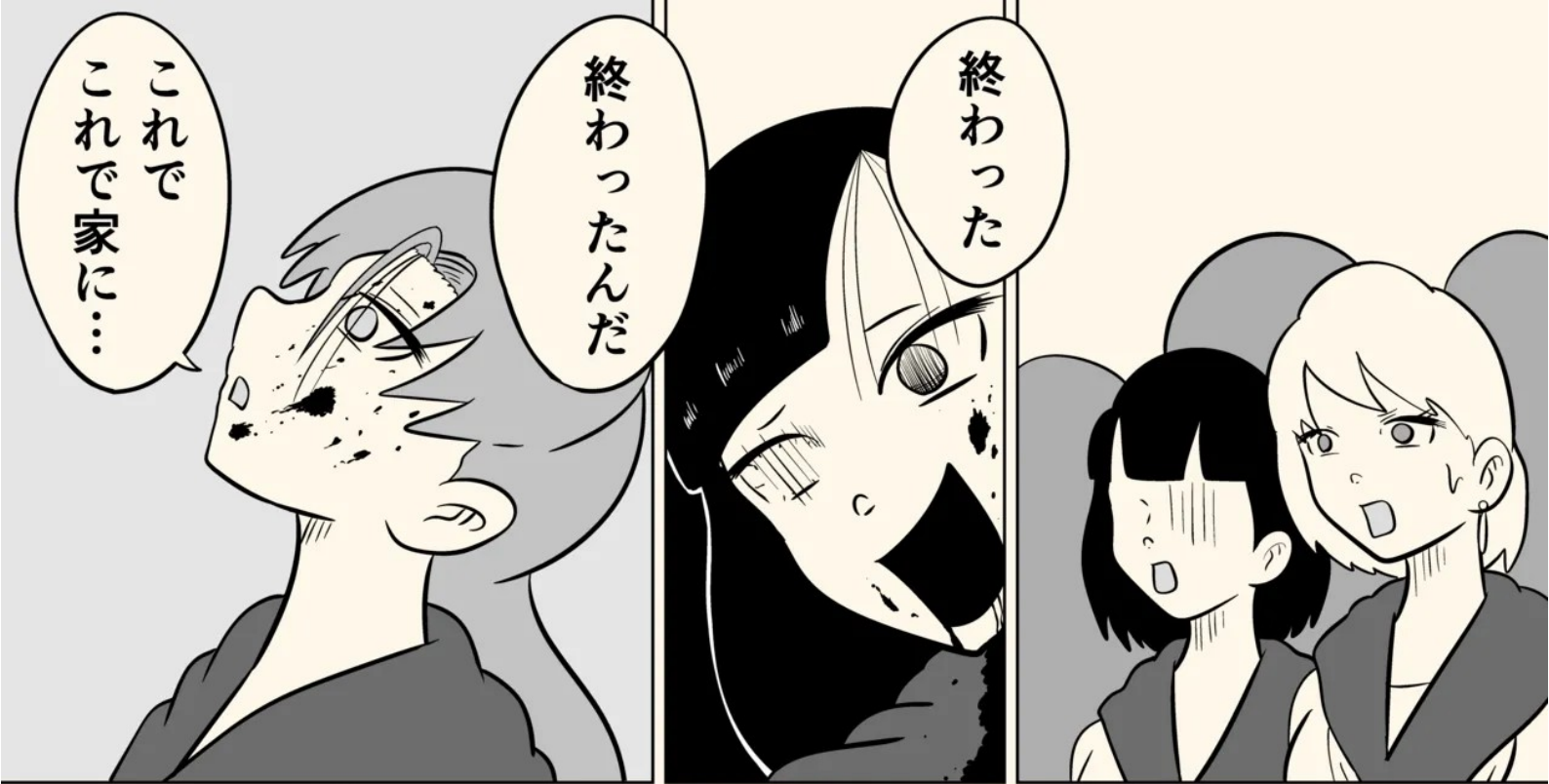
何かないか…!?











んむっっるるるる
るるるっ!?んんんん

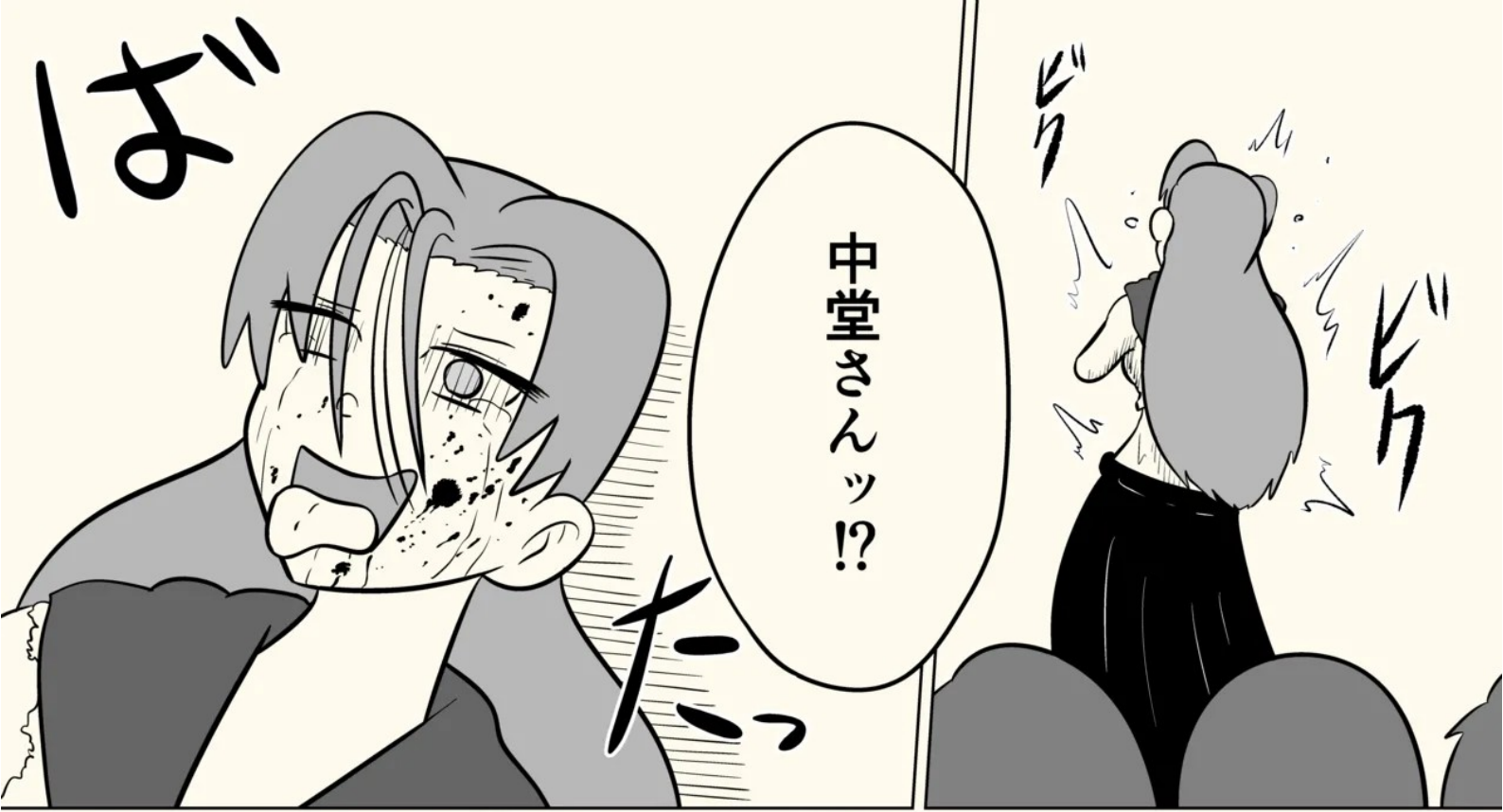


んむッ!?



一緒に
こっちに来ようねえ



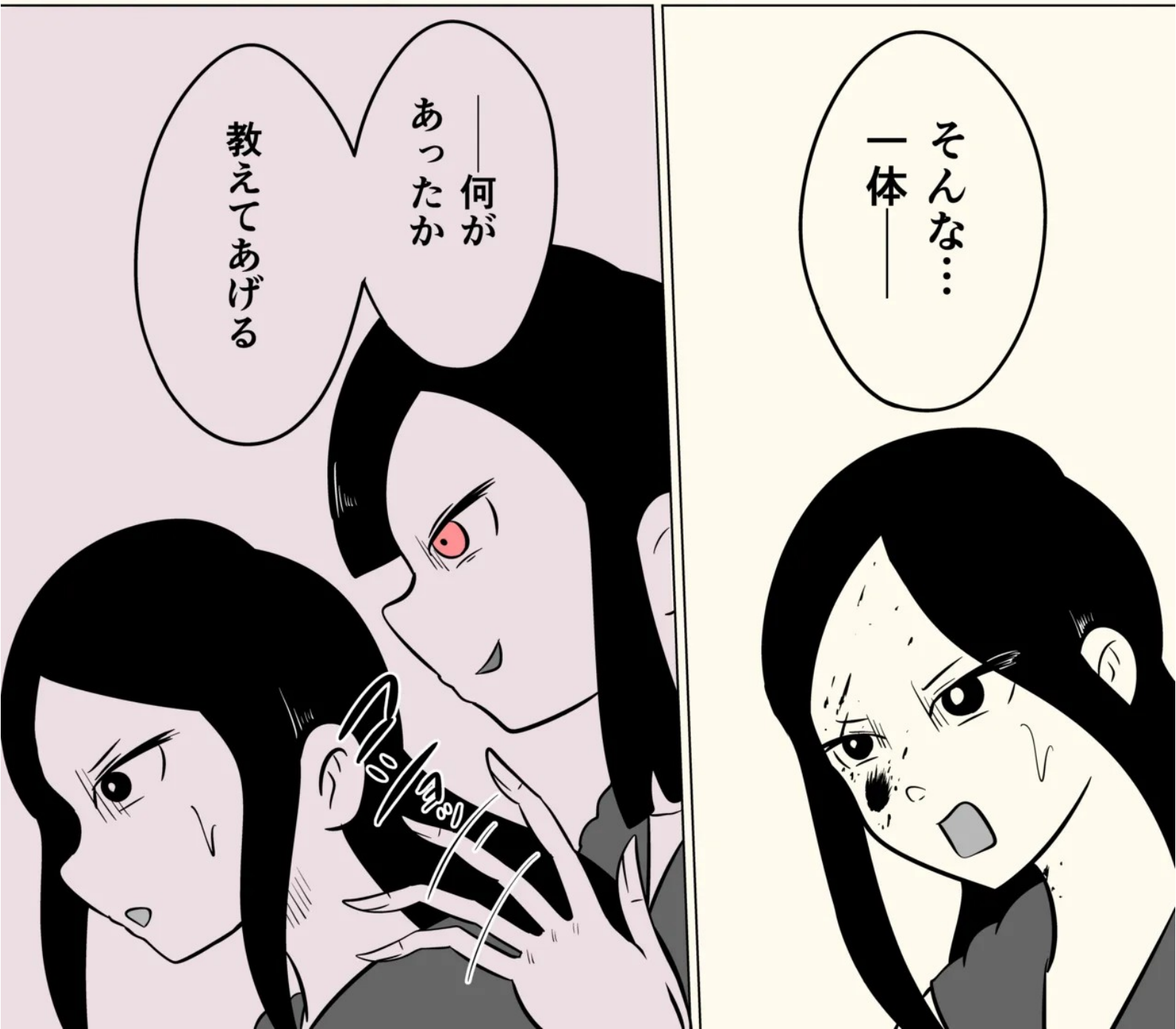


中堂さんッ?!

教えてあげる

——何が
あったか

そんな……
——一体





犠牲者は

斧橋冷夏で最後には
ならなかった

次は
自分かも知れない



そう思って
私はその場でそれを
待っていた

でも…

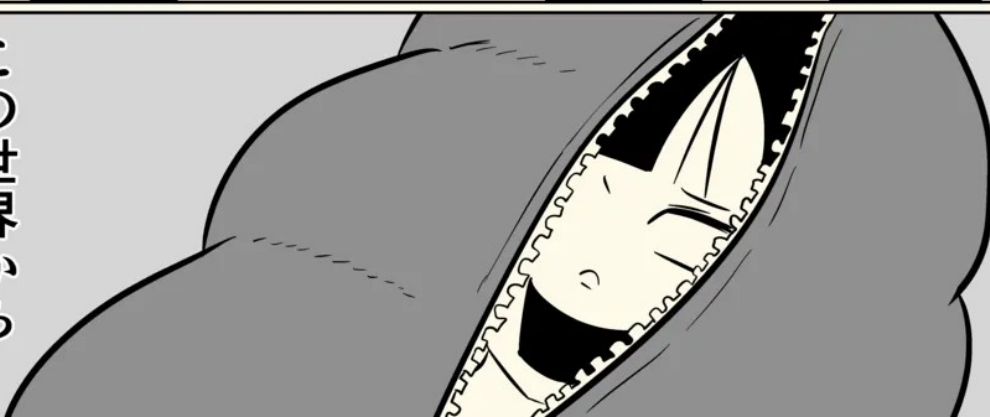


斧橋冷夏は来なかった



これでやっと
終わったんだと思った

ただ…
死んだ斧橋冷夏が



この世界から
いなくなった
気はしなかった

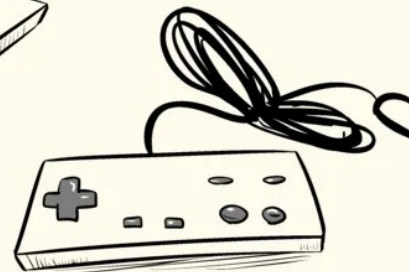
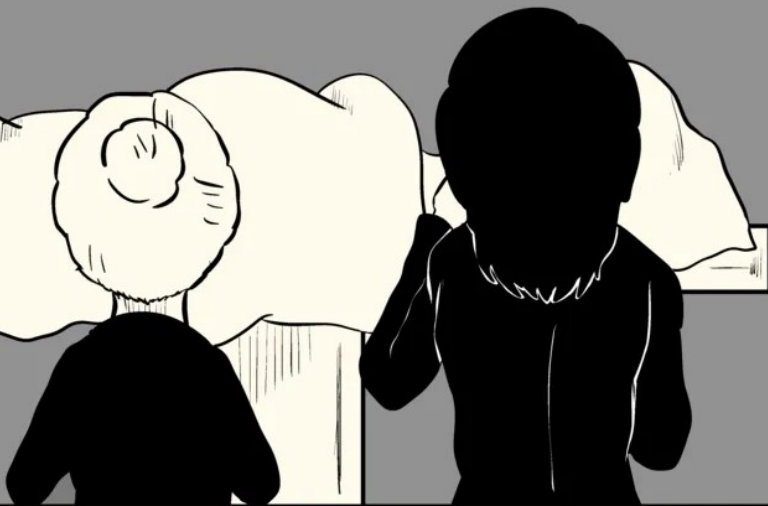
犠牲者たちが



家に帰ることは
決してないのに



それなのに



アイツだけは――

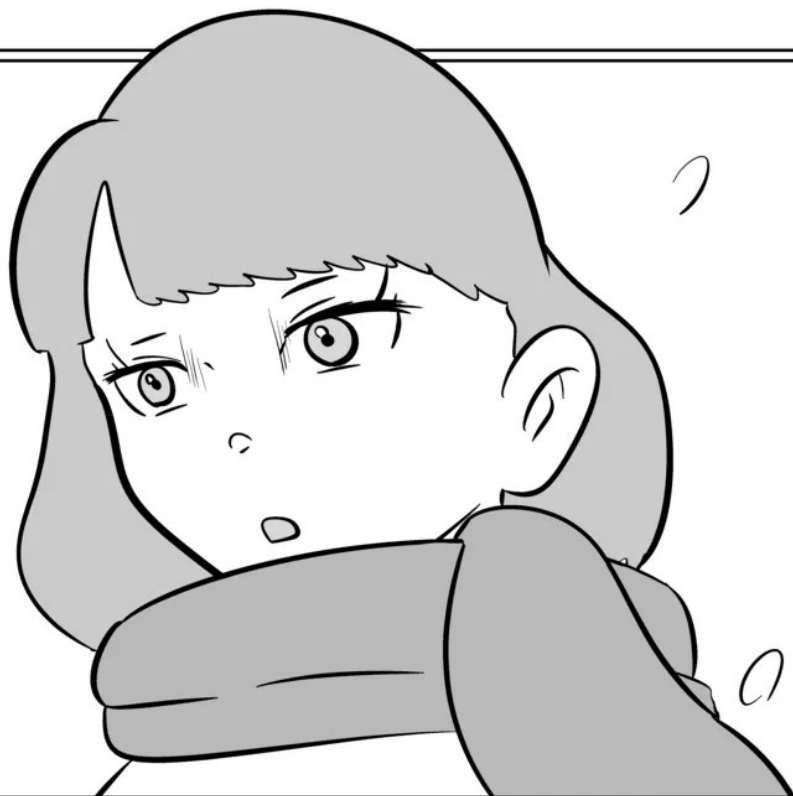


――帰って来る気がする

事件後、私たちのクラスは
より一層、溝が深まった

あのと
警察にいろいろ聞かされたけれど

誰も本当のことを
信じてくれなかった





美波…

美波…！

美波ツ！



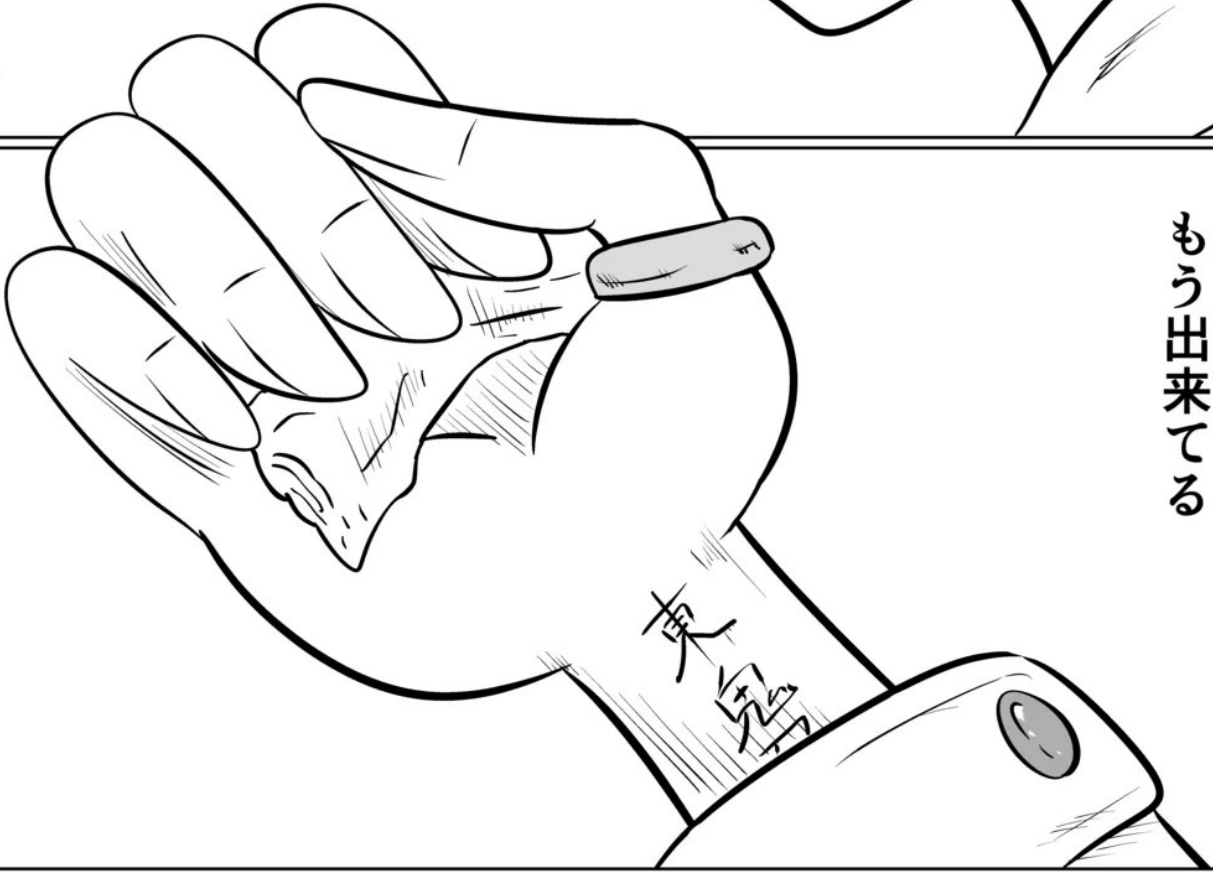
逃げろ
アイツが来る

もうこれ以上は
アイツを抑えられない…！



うん…

分かってるよ…あいか



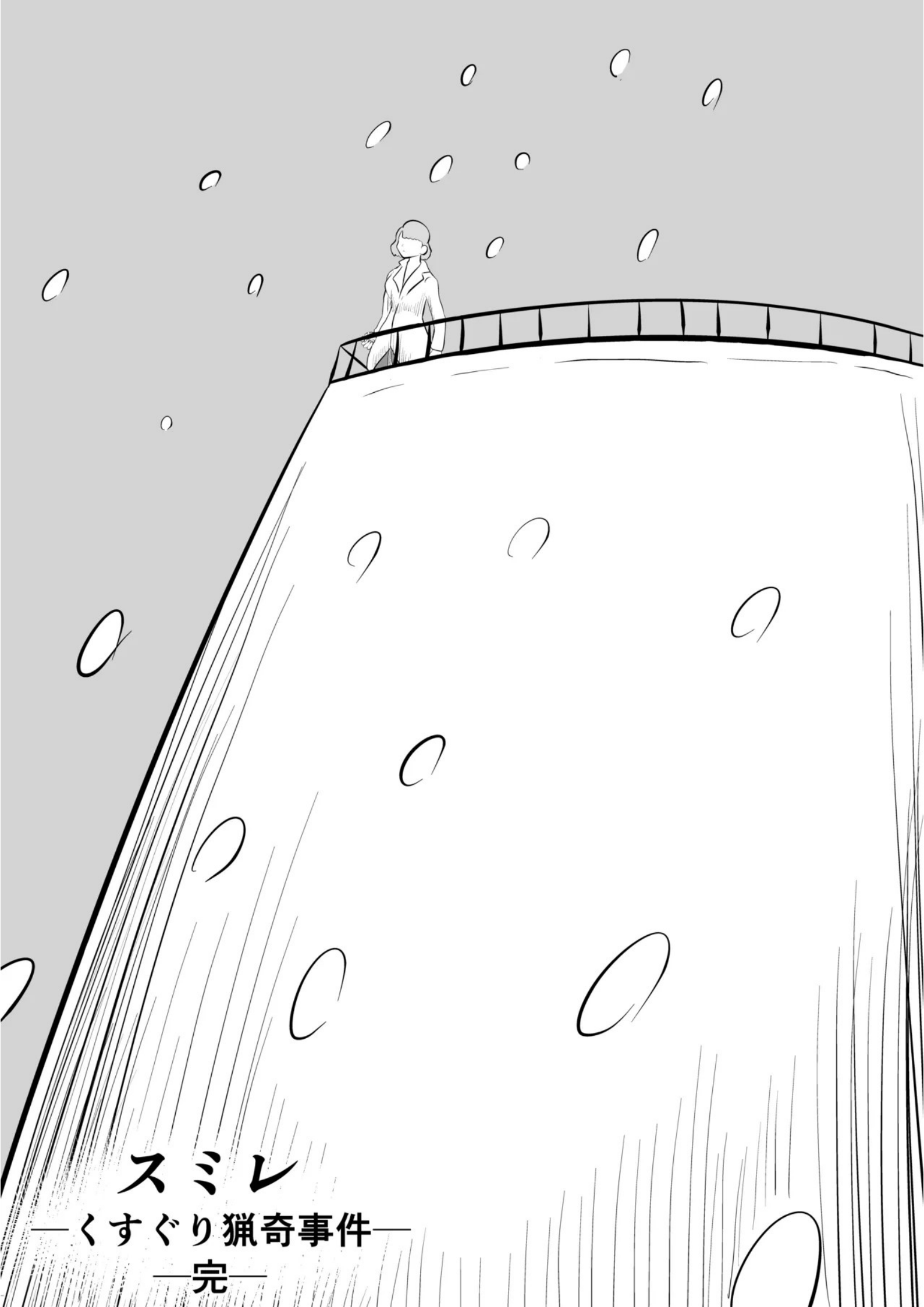
こっちの準備は
もう出来てる

みんなが
私に時間をくれたから

そっちへ行って
みんなと一緒に…

戦う覚悟も出来てる





スマイル

—くすぐり猟奇事件—

—完—